

1940年から2015年まで…

1940年の8月、第二次世界大戦が始まったころ、ブラザー・ロジェはテゼ村にやってきました。当時25歳になったばかりでした。そして彼はそこに、ひとつの共同体の基盤を築きました。彼は、そのコミュニティーが「交わりのたとえ」——人類家族の和解のパン種になることを願いました。

「若い頃からずっと、わたしの中には直観がありました。共同体での生活は、神が愛であること、ただ愛のみであることを示す徴となるのではないか。自分の人生すべてを献げることを決意した男性たちのコミュニティーを創ることが重要だという確信が少しずつわたしのうちに生まれました。互いに理解し合い、和解しようとする群れであり、心からの親切さと単純素朴さがすべての中心であるようなコミュニティーです。」
(ブラザー・ロジェ)

現在、テゼ共同体は、約30か国から集まったカトリックとプロテスタント諸派を背景とする約100名の修道士から成り立っています。

ブラザー・ロジェは、2005年8月16日、夕の祈りの最中に、精神障害のある人に刺されて亡くなりました。享年90歳。

2015年、テゼは一年を通して、共同体の創設75周年を祝い、また創設者の生誕100年、逝去10周年を記念します。

この2015年に備えて、ブラザー・ロジェに続いて院長になったブラザー・アロイスは、福音に立ち返りながら人々と連帯する決意を新たにするために3年間模索することを提案しました。

新しい連帯のための集い

2015年8月9日(日)～16日(日)

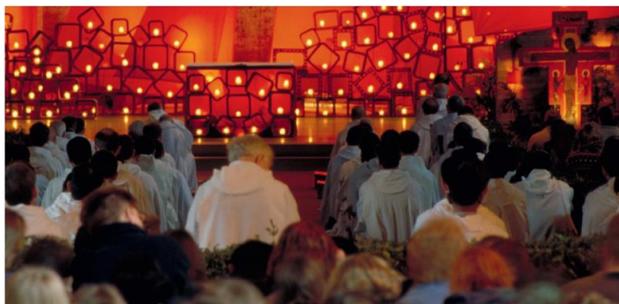
2015年の祝祭の頂点であるこの週は、「新しい連帯」の模索に取り組んだこの3年間の集大成でもあります。

18～35歳の青年の方は、ぜひこの週にテゼへお越しください。

8月9日(日)は、14時～18時の間に到着してください。クリュニーまたはコルマタンから徒歩巡礼する人々もいます。出発は、8月16日(日)の19時以降となります。

諸教派から、また世界の様々な地域からゲストを迎えての聖書の学びやワークショップ。金曜日には「十字架を囲む祈り」。土曜日の夕には、復活を祝う「光の祝祭」が野外で予定されています。

8月9日～16日の週は、特に世界各地で危うい状況に置かれている人々に心を向けます。「連帯基金」によって、様々な社会的情勢に置かれている人々がこの週テゼで過ごします。



ブラザー・ロジェを追悼する感謝の祈り

2015年8月16日(日) 16時から

この祈りはすべての人に開かれており、世界のあらゆる地域から教会の指導者たち、他の宗教の代表者たち、そして青年たちが参加します。

地上における信頼の巡礼



新しい連帯に向かって

テゼ：2015年

コミュニティー
テゼ共同体 創設75周年

ブラザー・ロジェ 生誕100年
(1915年5月12日-2005年8月16日)

info2015@taize.fr
www.taize.fr/2015

2015年：テゼにおける国際的な集い

テゼの丘では、2015年も例年のように、日曜から日曜までの一週間単位で、国際的な集いが開催されます。

毎日のプログラム…ブラザーたちと共に捧げられる一日三回の祈り。聖書の学びに続いて小グループによる分かち合い、または沈黙で過ごすとき。社会における生活の様々な側面と信仰との結びつきを深めるワークショップ。

訪問可能な日程

- ▶ 18～29歳の青年…可能なら8月9日～16日、または1月6日～12月20日のいずれかの週に訪問可能。
- ▶ 15～17歳の青年…8月9日～16日を除き、1月6日～12月20日のいずれかの週
- ▶ 30歳以上の方…8月9日～16日を除き、3月中旬～10月中旬。ただし、35歳以下の方は、8月9日～16日の国際的な集いにも参加可能。
- ▶ 家族(15歳未満の子供連れの方)…7月と8月(8月9日～16日を除く。)、またイースター(復活祭)とペンテコステ(聖霊降臨日)の頃。

2015年は年間を通じて、様々な特別展示、ワークショップおよびイベントがテゼで行われます。



5月12日頃に

創設者の生誕(1915年5月12日)を祝い、テゼ共同体は、2015年5月10日(日)にテゼ近隣の住人を特別にテゼへ招待します。受付は15時からで、その後いくつかのワークショップでブラザー・ロジェの人生についてのプレゼンテーションがあります。17時半から感謝の祈りが捧げられます。

テゼは、世界各地の青年たちに、5月12日頃にそれぞれの場所で祈りの集いを開き、連帯のための行動を思い描くよう呼びかけています。ブラザー・ロジェを思い起こし、キリストに従うようにというブラザーの招きを行動に移す機会となればと願います。

現代における修道召命の意味についての考察

2015年7月5日(日)～12日(日)

修道生活を送る若者(修練中の方および誓願後数年の方を含む。)を対象とした国際的な集い。

ブラザー・ロジェはよく言いました。「修道生活という大樹」において、テゼは「接ぎ木された一つの新芽に過ぎない」と。この大樹へのブラザー・ロジェの貢献とはどのようなものだったのでしょうか。カトリック、正教、プロテスタントの修道会および共同体修道会の代表の方々の助けを得ながら、参加者は修道召命がごんにちどのような意味を持つのかについて考えます。また、様々なワークショップや聖書の学びもあります。



セミナー：神学的思索へのブラザー・ロジェの貢献

2015年8月30日(日)～9月6日(日)

若い神学者、神学生、研究者、またはすでに教会で宣教に携わっておられる方を対象とした国際セミナーです。

ブラザー・ロジェは、神学について学術的な議論に加わったことはありませんでした。しかし、ブラザーはつねに神学者の友人たちと親交がありました。そして、神学に対する独自の見方を発展させており、それは彼の著作、共同体の生活、青年大会などのうちに見いだすことができます。ブラザー・ロジェの思索のいくつかの側面を明らかにし、またテゼ共同体の意義について光を当てるために、様々な国のプロテスタント、正教、カトリックの神学者の方々が集まってください。

2015年にテゼでボランティアをする

テゼには、祈り、奉仕および共同生活を数か月にわたって体験するボランティアがいます。2015年は、通常のボランティアに加えて、以下の若者(18～29歳)を募集します。

- ▶ 8月2日～23日の間、テゼでボランティアをする方
- ▶ テゼ以外の場所で、暫定的な小コミュニティー(下記参照)で数週間生活する方

すべての青年が対象ですが、今まで数回テゼを訪れたことのある青年やすでにテゼで長期ボランティアをしたことがある青年を特に募集します。詳しくは、info2015@taize.fr までお問い合わせください(英語)。

さらに長期のボランティアとしてテゼに来たい方は、www.taize.fr/2015 で詳しい情報をご確認ください。



暫定的な小コミュニティー

2015年の前半には、青年たちの小さなグループが、数週間にわたって、それぞれの場所の近隣や村で共同生活を体験し、福音を証し、そこに暮らす人々の喜びと苦悩を分かち合おうとします。一日三回共に祈る日々のリズムに沿って生活しつつ、その地域のキリスト教共同体と共に司牧的・社会的活動に関わります。孤立している人や困難な状況にある人を訪ね、すべての人に開かれた祈りの集いや青年の集いを企画します。

このプロジェクトに参加したい人は、その準備のために、2014年のイースターから2015年2月までの間に、一週間テゼに滞在する必要があります。

詳細は、info2015@taize.fr までお問い合わせください。